



2011年6月3日18時30分
独立行政法人 放射線医学総合研究所

原発作業員2名の暫定的な線量評価結果について

独立行政法人 放射線医学総合研究所(理事長：米倉 義晴)

放射線医学総合研究所(理事長 米倉義晴、以下、放医研)は、平成23年5月30日に東京電力福島第一原子力発電所の作業中に内部被ばくを受けた可能性のある作業員2名を受け入れ、線量評価をおこなってきました。

その結果、内部被ばくの線量は、30代男性は210-580mSv、40代男性は200-570mSvであると推定されました。

本件に関しまして、本日21時より、放医研において記者会見をおこないます。